



3、4年生が県内の企業を見学

北陸電力、参天製薬などを訪れる

キャリアデザイン教育の一環として毎年行われている企業見学が7月12日(火)に3年生及び4年生を対象に行われた。

これは企業見学を行うことにより、科学技術の進歩発展を理解し、科学技術の発展に貢献していこうという姿勢を持つことにつながるもので、学生にとって授業に関連する内容と実際の現場との有機的な関連を理解させて興味関心を深めることを目的としている。

〔クラス・見学先〕

T3：北陸電力(株)・志賀原子力発電所、アリス館志賀

M3：アール・ビー・コントロールズ(株)鶴来工場

G3：参天製薬(株)能登工場

D4：(株)別川製作所、金沢工業大学八束穂キャンパス

M4：ジェイ・バス(株)小松事業所

C4：(株)富士通ITプロダクツ

金沢工業大学八束穂キャンパス

→情報技術、感動デザイン研究所

T：電気電子工学科、M：機械工学科
G：グローバル情報工学科、D：電気情報工学科
C：国際コミュニケーション情報工学科

見学当日は猛暑に見舞われたが、学生たちは、各見学先で、概要説明、工場見学などさまざまな経験を通じて、心に残る有意義な終日を過ごした。

八束穂リサーチキャンパスでは「ものづくり」「感動デザイン」「情報技術」の各研究所を見学し、革新的基礎技術の創出に向けて研究に励んでいる研究者の姿には感動を覚えたようであった。

各企業見学の学生たちの所見の一部を次に紹介する。

◇アール・ビー・コントロールズ(株)鶴来工場

「給湯器や空調機器等の電子制御ユニットや各種センサーが作るのに使用する小さなパーツが約4,000種類と大変多いにもかかわらず、整然と管理されていることが印象的であった」など多数の学生は、企業見学では、工場内が整然としていて、効率的な生産活動を行っており、細部にわたりまとまっているという印象を受けたようであった。

◇北陸電力志賀原子力発電所、アリス館志賀

「今まで、身近にあったけどよくわからなかった原発のことをよく知ることができる機会となり、貴重な体験となりました。」



北陸電力、アリス館などを見学したT3の学生たち

—中略—

また、作業員の方が気温32℃、湿度67%の中で働いて、「すごく暑そうだと思います」など、福島第一原子力発電所の事故をうけて、志賀原子力発電所の徹底した災害への安全対策をしており、従業員の方々が極暑の中、安全・安心のために頑張っている姿が印象的だったと話していた。

◇ジェイ・バス

建屋6万㎡の広大な工場生産されるバスの一連の製造工程を見学した。特にボディを丸ごと槽に浸漬し、電着下地塗装を行う工程は大規模なものであった。2年次に見学した乗用車メーカーのFA導入による生産効率を迫る現場とは異なり、溶接工程から組立ての一連の工程で人の手により1台1台カスタム生産されていくものづくりは、学生たちには新鮮に写ったようであった。



ジェイ・バスを見学したM4の学生たち

◇参天製薬(株)

見学コースはとても清潔に保たれて、作業も見学しやすいように整備されていた。そのため、参天製薬の取り組みがわかりやすくなっており、学生たちにとっては将来就く仕事を考えるにはよい経験ができた。また、誘導をしていただいた人事課の方は「企業が求める人材、特に協力やコミュニケーションがとれる人を求めている」と説明していた。

学生たちにとっても今後の指導していく教師にとっても大変参考になった内容であった。



参天製薬能登工場を見学したG3の学生たち